



新庁舎 建設工事始まる



01 新庁舎建設工事の施工者が決定しました

総合評価方式制限付一般競争入札により、新庁舎建設工事の施工者が決定しました。落札者は下記のとおりです。令和5年12月27日に議会の議決を経て、西郷村新庁舎建設工事請負契約が成立しました。今後は令和8年の開庁を目標に新庁舎の建設を進めていきます。

工事の進捗状況については、「西郷村新庁舎建設 TOPIC」にて随時お知らせします。

【西郷村新庁舎建設工事】

- ◆ 契約者：株式会社大林組 東北支店 執行役員支店長 鈴木 直行
宮城県仙台市青葉区上杉一丁目6番11号

02 新庁舎建設工事に係る関連工事(調整池)を進めています

新庁舎が建設される敷地内において防災調整池の整備を進めています。調整池とは、1haを超える土地の開発を行う場合に必要となるもので、開発行為に伴う下流河川等への流量増に対し、対策を施す施設です。大雨の際に下流へ流れ出る水量を調節し、急な増水を防ぐことができます。新庁舎建設敷地においては、駐車場の一部に雨水を貯めるオンサイト調整池と地下調整池を併用して整備します。



◀ 地下調整池全景(施工中)



◀ 地下調整池内部(施工中)

03 白河実業高校建築学科の生徒が研修しました

令和5年10月26日、福島県県南建設事務所主催による福島県立白河実業高等学校建築科1年生(23名)による現場研修会が実施されました。同校建築科は令和5年度に創設され、研修生は一期生となります。

研修では、新庁舎建設計画の概要を説明した上で、ドローンを使って上空から建設現場を映し出し、工程などを解説しました。今後も工事竣工までの間、現場見学会を定期的に開催する予定です。



▲ 新庁舎概要説明の様子



▲ ドローンを使った現場確認の様子